

| | | | | |
|----------------------------|---------------|---|------------|----------------|
| 招集期日 | 令和7年2月5日(水) | 会議の場所 | 301会議室 | |
| 会議の時刻 及び宣告者 | 開会の時刻 午後1時30分 | 開会者 | 教育長 | |
| | 閉会の時刻 午後2時30分 | 閉会者 | 教育長 | |
| 委員出席状況 | | | | |
| 氏名 | 摘要 | 氏名 | 摘要 | |
| 秋本文子教育長 | 出席 | 平野博之委員 | 出席 | |
| 柿沼拓弥教育長職務代理者 | 欠席 | 駒澤幸浩委員 | 出席 | |
| 田村和代委員 | 出席 | | | |
| 議事参与者及び 説明のための出席者 | 橋本学校教育部長 | 新井生涯学習部長 | 米花教育総務課長 | 蓮見学校教育課長 |
| | 亀村学校給食センター所長 | 佐藤生涯学習課長 | 根岸スポーツ振興課長 | 阿久津図書館長兼郷土資料館長 |
| 書記名 | 教育総務課総務係 平川 | | 傍聴人 なし | |
| 会議事件名 | て ん 末 | | | |
| 開会 日程第1 前回会議録の承認 | 教育総務課長 | 本日、傍聴人はない。 | | |
| | 教育長 | 2月定例教育委員会を開会 | | |
| | 教育長 | 教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する案件等について出席委員の3分の2以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程の中で議案第3号、第4号は、議会の議決を経るべき議案のため、非公開としてよろしいか。 | | |
| | 教育長 | 異議なしの声あり | | |
| | 教育長 | 議案第3号、第4号を非公開とする。 | | |
| | 教育長 | 1月定例教育委員会の会議録について諮った。 | | |
| | | 異議なしの声あり | | |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|--|--|---|
| <p>日程第2 報告事項1 公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定について</p> | <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p> | <p>前回会議録は、承認された旨宣した。</p> <p>報告事項1について、教育総務課長から説明を求めた。</p> <p>児童・生徒用の学習用コンピューターの更新に当たり、国の定める公立学校情報機器等整備事業に係る補助金を受けようとする場合は、あらかじめ端末の日常的な利活用に係る計画等を策定し、公表することとしている。本市では、令和8年度に端末の整備を予定していることから、令和6年度中に当該計画等を策定し、公表するものである。</p> <p>別添1 端末整備・更新計画について 令和8年度に児童・生徒分3,500台、予備機525台、合計4,025台を整備する計画である。現在使用している端末は、一部公共施設等での利用を検討し、使用できないものは、小型家電リサイクル法の認定事業者処理を委託する。</p> <p>別添2 ネットワーク整備計画について 端末の活用に必要なネットワーク速度が確保できている学校は、市内で羽生北小のみである。そのため、ネットワークアセスメントを実施し、不具合の原因を特定し、令和9年3月までに改善する計画としている。</p> <p>別添3 校務DX計画について 国が示しているGIGAスクール構想下での校務DXを見据え、羽生市DX推進計画に基づいた校務DXの研究に取り組んでいく。</p> <p>別添4 1人1台端末の利活用に係る計画について 1人1台端末の利活用方策については、(1)1人1台端末の積極的活用、(2)個別最適な学びと協働的な学びの充実、(3)学びの保障の三つを掲げ、計画に定めている。</p> <p>報告事項2について、学校教育課長の説明を求めた。</p> |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|---|-----------------|---|
| <p>報告事項2 令和6年度文部科学大臣優秀教職員表彰について</p> | <p>学校教育課長</p> | <p>文部科学省において、学校教育における教育実践等に顕著な成果をあげた教職員を、優秀教職員として表彰することとしている。今年度、新郷第一小の松井裕務事務主査が受賞となり、令和7年1月17日に東京大学で表彰をいただいた。実践分野は学校教育目標の具現化（学校事務）である。受賞内容について、書類の電子システム化やファイリングシステムの構築など、教育環境等の整備の充実に確実な効果を上げたことが評価された。</p> |
| <p>報告事項3 令和7年羽生市二十歳の集いの結果について</p> | <p>生涯学習課長</p> | <p>二十歳の集いの開催日や日程等については、記載のとおりである。参加状況について、今回該当者560名のうち385名が式典に参加し、参加率は68.75%だった。昨年より4%増加している。保護者等の観覧者数は139名だった。二十歳の集いは、実行委員会のメンバーが記念品の選定や当日の進行等を主体的に行い実施した。実行委員会が作成した中学校ごとのオリジナルムービーの上映は非常に好評だった。落ち着いた雰囲気の中で執り行うことができ、来年も、二十歳の門出を祝い、喜んでいただけるよう取り組んでいく。</p> |
| <p>報告事項4 第20回羽生市フロアカーリング大会の結果について</p> | <p>スポーツ振興課長</p> | <p>誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめるニュースポーツ「フロアカーリング」を通して、生涯スポーツの推進・振興を図るものである。令和7年1月19日(日)、61チーム、215名の参加により開催された。競技結果について、午前中は、61チームが11ブロックに分かれて予選リーグを行い、午後から各ブロックの順位ごとの決勝トーナメントを行った。幅広い年齢層の方が参加し、会場には勝敗にかかわらず、歓声や笑い声が響き、多くの笑顔とともにまた参加したいとの声をいただき、盛大に開催することができた。参加チームを予</p> |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|--|-----------------------------------|---|
| <p>報告事項5 令和6年度ムジナモ 講演会「ムジナモ復 活の軌跡～希少植物 再生への道～」の結 果について</p> | <p>教育長</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p> | <p>選リーグで敗退とすることなく、全チームによる決勝トーナメントを行うことで、より多く、フロアカーリングを行う機会を設けることができた。少ない役員体制の中、参加チームに得点係を依頼することでスムーズに大会運営をすることができた。今後もスポーツ推進委員会を中心に審判研修等を継続し、市民へのさらなるフロアカーリングの普及と生涯スポーツの推進に取り組んでいく。</p> <p>報告事項5について、図書館長兼郷土資料館長の説明を求めた。</p> <p>令和7年1月18日(土)ワークヒルズ羽生大会議室で講演会を実施した。講師は埼玉県環境科学国際センター研究員の安野翔氏、埼玉大学名誉教授の金子康子氏である。参加者は70名であった。安野氏には、県内の希少植物の現状や水生植物の保全について講演いただいた。金子氏には、ムジナモと自生地のこれまでの調査・研究の経緯とムジナモが復活してきた経過やこれからの課題について講演いただいた。参加者のうち約半数は市外の方で、ムジナモ自生地がある羽生市について知っていただく機会となった。参加者の年齢について9割以上が60～70歳代であったため、若年層など幅広い世代にムジナモについて知ってもらえる企画を今後検討していく。</p> |
| <p>報告事項6 その他</p> | <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>駒澤委員</p> | <p>その他の報告を求めた。</p> <p>特になし</p> <p>報告事項に関し、意見・質問を求めた。</p> <p>公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定についてである。GIGAスクール構想が顕著に進み様々な効果が生じており、非常に喜ばしいことである。今後もこの状況が長く続く</p> |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|-------|--------|--|
| | 教育総務課長 | <p>ことを願う。端末を更新する際の条件がいくつかあるが、この内容をもって補助金が採択されない場合があるのか。</p> |
| | 駒澤委員 | <p>学習用パソコンの更新について、国からの補助金は、一度都道府県が立ち上げた基金に入ることになっている。そこから各市町村に補助金として交付されることになっている。この基金を利用する際の条件としてこの各種計画の策定が必要となり、台数等については、基金を使用する要綱に基準が定められている。その基準を満たせば、基本的には補助金を受けることができる。</p> |
| | 駒澤委員 | <p>多額の費用がかかると思うので、補助金があれば積極的に利用し、滞りがない状況を作り続けていただきたい。</p> <p>ネットワーク整備計画について、羽生北小のみが、ネットワークアセスメントを実施するという説明があったが、羽生北小だけにネットワークがつながりやすい、他はつながりにくい状況にあるということか。</p> |
| | 教育総務課長 | <p>学習用パソコンはネットワークにつながるように、全ての学校でネットワークの環境整備をしている。国の定める基準があり、その速度を確認したところ、羽生北小だけが基準を満たしている状況だった。なぜ羽生北小だけ基準を満たしているのか特定できていないが、ネットワーク整備事業者の見解では、学校の近くまで太いネットワーク線が設置されているからではないかということである。一つのネットワーク線を複数台同時に利用すると、速度が遅くなる。街中ということで環境としては整っているのではないかと思われる。他の学校については調査を行い、原因を特定し、令和9年3月までに改善していく計画である。</p> |
| | 駒澤委員 | <p>「ネットワークが遅い・つながりにくいと感ずることがあるか」という設問に対して、「よくある」及び「たまにある」と回答した学校が、14校中8校あるとのことだが、「たまにある」ぐらいであれば、問題ないかと文面を読み感じたが、仕事の環境の場合でもネットワークが繋がらないことで致命傷に至る場合もある。いろいろ調べる中で、授業で1台だけネットワーク</p> |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|-------|--|---|
| | <p>田村委員</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>平野委員</p> <p>生涯学習課長</p> | <p>環境が悪く、つながらないと、授業が進まないなど問題が生じることもあるため、原因を突き詰めていくことが大事であり、調査結果を受けて改善されることを願っている。</p> <p>令和6年度ムジナモ講演会「ムジナモ復活の軌跡～希少植物再生への道～」の結果についてである。参加者の9割以上が60～70歳代だったということである。非常に良い機会のため、来年度、小・中学生を中心とした出前講座や講演会を開催し、子どもたちの地元愛を継続していくためになると思う。</p> <p>第20回羽生市フロアカーリング大会の結果についてである。幅広い年齢層の参加で、過去に私も家族で参加したことがある。10年前だが、埼玉新聞に掲載され、思い出に残る大会だった。第20回ということで、これからも子どもから高齢者までが楽しめる大会を、スポーツ推進委員も含めて開催していくので、よろしく願いたい。</p> <p>ムジナモ講演会は想定より高齢の参加者が多かった。若年層も含め多くの方に参加してもらえるように、三田ヶ谷小以外の学校にもPRをしていく。</p> <p>若い世代の参加が伸びない部分はある。スポーツ推進委員を中心とした普及活動やフロアカーリング協会の設立によって中学生以下、高校生以下の参加者も徐々に増えるようになってきた。引き続きスポーツ推進委員の協力をいただきながら推進を図っていく。</p> <p>令和7年羽生市二十歳の集いの結果についてである。出席し、参加者が楽しそうにしている様子が私にも伝わり、良い式典だったと思う。パソコンの画面の不具合が続いていたため、来年はスムーズになるよう準備をお願いしたい。</p> <p>産業文化ホールの担当者と改善策を協議している。リハーサルでは問題なかったが、結果的に不具合が発生してしまった。来年は不具合が発生しないように、リハーサルも含め準備を整えていく。</p> |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|---|-----------------------------|---|
| <p>日程第3 協議事項1 令和7年度羽生市教育委員会・教育研究会研究委嘱校一覧について（案）</p> | 教育長 | 原因を追究し、改善していただきたい。 |
| | 駒澤委員 | 令和6年度文化科学大臣優秀教職員表彰についてである。非常に喜ばしいことである。書類の電子システム化等が、新郷第一小だけにとどまることなく、他校にも浸透できる取組や仕組みとして今の時点で構築できているのか。 |
| | 学校教育課長 | この取組は、既に市内の学校で一斉に導入を図っている。学校日誌や勤務整理簿（出勤簿）、休暇簿等のデータの様式を整え、全ての学校で一斉に使用を開始することによって、市全体の事務効率化が進められた。市内全体への影響も考え、今回の受賞につながっている。 |
| | 教育長 | 報告事項については、よろしいか。 異議なしの声あり |
| | 教育長 | 協議事項1について、学校教育課長から説明を求めた。 |
| | 学校教育課長 | 令和7年度の研究発表校は、新郷第一小と川俣小、手子林小が緑化発表である。研究委嘱を行う学校は、須影小と岩瀬小になる。令和7年度も緑化研究の委嘱校とし、本来であれば井泉小が対象校であるが、再編成され羽生東小となること、羽生東小がそのまま緑化の研究委嘱を引き継ぐことになった場合、開校1年目と緑化の研究が重なり負担となるため、令和7年度は緑化の研究委嘱は見送りとなっている。 |
| | 教育長 | 協議事項1について、意見・質問を求めた。 |
| 駒澤委員 | 羽生東小になり学校数が減ることで、研究奨励費や緑化の費 | |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|--|--------|---|
| <p>日程第4 議案第3号 議会の議決を経るべき議案について（令和6年度一般会計補正予算（第9号）のうち教育費について）</p> <p>議案第4号 議会の議決を経るべき議案について（令和7年度教育費予算について）</p> | 学校教育課長 | <p>用が減ると思うが、その分全額を補填することができるのか、それとも何もやる必要はないのか。</p> <p>研究奨励費等については、毎年、研究校の学校に対し支出されるため、学校の総数は減るが、毎年該当校数の割合が減るわけではないため、同額という形で次年度も考えている。負担金等については、市の財政政策もあり、総額では減っている部分もある。市長部局と調整の上、進んでいる段階である。</p> |
| | 教育長 | <p>協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> |
| | 教育長 | <p>協議事項1については、承認された旨宣した。</p> |
| | 教育長 | <p>議案第3号、議案第4号については、会議を非公開とする。</p> <p>（会議非公開 可決）</p> <p>（会議非公開 可決）</p> <p>これより、会議を公開する。</p> |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|---|--|---|
| <p>議案第5号 羽生市学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>閉 会</p> | 教育長 | 議案第5号について、学校給食センター所長から説明を求めた。 |
| | 学校給食センター所長 | 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費1か月分を無償化することに伴い、規則の一部を改正するものである。 |
| | 教育長 | 議案第5号について、意見・質問を求めた。 |
| | | 特になし |
| | 教育長 | 議案第5号については、よろしいか。 |
| | | 異議なしの声あり |
| | 教育長 | 議案第5号については、承認された旨宣した。 |
| | 教育長 | 次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。 |
| 教育総務課長 | 第1回臨時教育委員会を2月26日(水)午後1時30分から、教育委員室にて開催する。令和7年3月定例教育委員会を3月19日(水)午後4時から、301会議室にて開催する。同日午後3時から、総合教育会議を予定している。 | |
| 教育長 | 閉会を宣した。 | |

| 会議事件名 | て ん 末 | |
|-------|-------|---|
| | | <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p> |